

1月15日 ルカによる福音書5章1～11節 今日の説教から

説教題：「最初の招き」

今日の聖書個所に記されている、弟子たちに対する「最初の招き」は、舟の上から群衆たちに向けて神様の言葉を語るイエス様の姿と、その舟を用いて驚くほどの魚をとる場面から始まっています。他の福音書には全く同じ記述はありません。イエス様の言動を福音書としてまとめるにあたり、執筆者ルカはこの出来事が重要であると判断したのです。

今日の個所の前半部分では、不思議な出来事は起きていません。イエス様は基本的にユダヤ人の集まる会堂で話をしていたようですが、話を聞きたい人々が大勢集まり、建物の中に入り切らないこともあり、今日の個所のように屋外で話をしていたこともありました。ただ、今日の場面は「会堂ではない」ということ、つまりはユダヤ人以外に対してもイエス様が語っていた、ということが強調されているのです。自分もユダヤ人ではなく異邦人であったルカにとって、イエス様の救いが「自分たちにも向けられている」ということを異邦人たちに伝えるためには、この出来事を伝える必要があったのです。

そして、4節以降でイエス様は舟の持ち主であるシモン・ペトロに対して、「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をなささい」と指示をしています。話し終わってすぐのことですから、まだ岸边には大勢の群衆がいます。彼らも話し終えたイエス様が何をするのか、期待を込めた目で見ていたことでしょう。しかし、この舟はこれから漁に出る舟ではなく、漁が終わった後の舟で、しかも「何もとれなかった」舟でありました。だからこそ、イエス様の言葉に従って網を下ろし、おびただしい魚がかかった時、ペトロは恐ろしくなっていました。岸边で見ている群衆たちからすれば、「すごいことが起きている」程度の認識だったのかもしれない。しかし、湖の状況を知っていたペトロにとっては、もはやひれ伏して怯えるしかないほどの衝撃的な出来事だったのです。

イエス様の招きの言葉を受けて、弟子たちは「舟を陸に引き上げ、すべてを捨ててイエスに従った」とあります。今まで当たり前と思っていた持ち物をすべて捨てて、自分を喜ばせるためのものをすべて脱ぎ捨てて、弟子たちはイエス様について行きました。何も持っていないからこそ、与えられるすべてが神様の恵みであることに気がつきます。何も持っていないけれども神様であればどうにかしてくれる、必要を満たしてくれることに気付いたその時、神様に頼り切ることが出来たその時、わたし達は、「自分のことを最優先に考える」という罪の道ではなく、「神様のことを最優先に考える」「第一に神様を愛し、隣人を自分のように愛する」正しい道を歩むことが出来ていることに気付くのです。

私たちは、信仰に入るにしたがって、多くのものを捨ててきたことでしょう。パウロはフィリピの信徒への手紙の中で、「律法に従って割礼を受けたこと」「由緒正しいイスラエルの民でベニヤミン族の出身である事」「ファリサイ派として熱心に律法を守ってきたこと」「その熱心さによってイエス様を信じる弟子たちを迫害してきたこと」それらすべてを捨てて、価値のないものであったと断言しました。

私たちは信仰に入り、何を捨ててきたのでしょうか。そして、私たちは、信仰によって何を手に入れてきたのでしょうか。互いの喜びを自分のことのように喜び、互いの悲しみを自分のことのように悲しみ、共に交わり共に歩む私たちは、この道に入り多くのものを神様から与えられていると感じます。私たち一人一人が神様に支えられて、神様の喜びの中で、神様のために歩む。その信仰の歩みが続けることが出来ている、そのことそのものが私たちにとって大きな恵みとなっているのです。そのすべての恵みに感謝を捧げながら、今週一週間の、これからの歩みを共に進めていきましょう。

今日の説教箇所：ルカによる福音書5章1～11節

- 1:イエスがゲネサレト湖畔に立っておられると、神の言葉を聞こうとして、群衆がその周りに押し寄せて来た。イエスは、二そうの舟が岸にあるのを御覧になった。漁師たちは、舟から上がって網を洗っていた。そこでイエスは、そのうちの一そうであるシモンの持ち舟に乗り、岸から少し漕ぎ出すようにお頼みになった。そして、腰を下ろして舟から群衆に教え始められた。話し終わったとき、シモンに、「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をなささい」と言われた。シモンは、「先生、わたしたちは、夜通し苦勞しましたが、何もとれませんでした。しかし、お言葉ですから、網を降ろしてみましよう」と答えた。そして、漁師たちがそのとおりにすると、おびただしい魚がかかり、網が破れそうになった。そこで、もう一そうの舟にいる仲間に合図して、来て手を貸してくれるように頼んだ。彼らは来て、二そうの舟を魚でいっぱいにしたので、舟は沈みそうになった。これを見たシモン・ペトロは、イエスの足もとにひれ伏して、「主よ、わたしから離れてください。わたしは罪深い者なのです」と言った。とれた魚にシモンも一緒にいた者も皆驚いたからである。シモンの仲間、ゼベダイの子のヤコブもヨハネも同様だった。すると、イエスはシモンに言われた。「恐れることはない。今から後、あなたは人間をとる漁師になる。」そこで、彼らは舟を陸に引き上げ、すべてを捨ててイエスに従った。